

【活動報告】

第75回国民体育大会冬季大会「八戸国体」 アンチ・ドーピング啓発活動しました！

アンチ・ドーピング委員会

昨年新築されたYSアリーナ八戸を中心に、三沢市、南部町において国体が開催されたが、八戸ではスピードスケート会場であり、開会式も開催したことから開催事務局との連携により、開会式場入口においてアウトリーチ活動する機会を得えました。

実施内容は、JADAから提供を受けた、ドーピング防止の啓発資料2種類とアンケート調査を実施して大会競技者のアンチドーピングに関する意識を確認し、アンケート調査をしてくれた方々へは、大塚製薬のドリンクをプレゼントしました。



開会式風景



アンケートに答えても
らうのも一苦労です。

開会式直前での活動では、緊張感もあり思ったような活動することはできませんでしたが、開会式終了後および午後からの公式練習には選手達が集まってきたので多くのアンケートを取ることができましたが、ブースを設置したものの、黙っていても誰も来てくれず、スポーツファーマシストおよび八戸市薬の会員の皆様の協力により、自らが選手達に寄り添って、啓発活動をしたことで多くの選手達にアンチ・ドーピング活動について理解をしてくれたのではないかと感じました。

一方、国体大会準備室の協力を得て、事前に参加県へ発送する文書中に、八戸市内でのお薬相談体制及び、県薬 Web サイトでの相談体制の告知を掲載および同封していただき、薬相談体制の構築を図った。相談は1件のみでしたが本会のPRになったと思います。

また、アンケート調査の結果を集計し、今後の2025年第80回国民スポーツ大会への課題を検討する好機になり、非常に貴重な機会が得られたと思います。八戸市薬剤師会の会員の皆様にもご協力を感じ申し上げます。また本会活動にご理解協力をいただいた八戸国体準備室の方々にも感謝申し上げます。



薬剤師会のバックボードも
作りました！